

野村 のむら ようこ 羊子




といっしょにつくる三鷹の会 ニュース no.58

■12月議会一般質問

1 女性が輝くまちづくりについて


(1)三鷹市における男女平等施策の現状について


 市の女性管理職比率は微増。育児休業・介護休業の男女別取得率はまだまだアンバランス。

(2)「三鷹市男女平等参画のための行動計画2022」について

三鷹市女性問題懇談会が発展的解散を決議したことと行動計画の記述を取り上げ、男女平等施策の後退を危惧し、市の今後の体制について質問。




 市長答弁；今後も市民と協働していく。女性問題懇談会の会長と懇談し今後について話し合う。市が男女平等施策を後退させることではない。


 今まで市民が担ってきた企画の提案や実施はどうするのか。市民の「協働」にただ乗りしてきた市が、今後どこまでやれるのか注視したい。

(3)ワーク・ライフ・バランスについて

2つの公立保育園で0歳児保育を廃止し、1、2歳児クラスを拡充すると募集直前に発表、結局来年度の0歳児保育定員が削減されたことを質した。



 市長答弁；アンケートに基づき育児休業を1、2年とって復帰しやすい環境整備のため、1・2歳児の拡充をした。0歳児保育はやめない。

 応募予定の園の変更を余儀なくされた保護者、三鷹駅周辺の認証保育所も対応に混乱。直前の市民意見を取り入れる余地のない発表の時期。0歳児保育削減は行革の一端であり、ワークライフバランスとの言訳では通用しない福祉の切り下げでしかない。

■にじ色のつばさ、議員報酬引き下げ案提出

会派「にじ色のつばさ」は、議員報酬引き下げ条例改正案を提出。議長64万、副議長58万、議員55万を各1万円引き下げ。市長引き下げ率1.9%に倣ったもの。今まで市長報酬引き上げ時に同時に引き上げてきた。引き下げも同時のはずが、議会としての動きがなく、にじ単独の提出。共産が質疑、民主と公明が反対討論し、賛成7（にじ・共）：20（自公民みんな）で否決。

<12月議会・主な議案>

◆総務委員会（10～11日）

<一般会計補正予算（第5号）>

三鷹台保育園跡地に建設する五小児童・なかよし教室・地区公会堂の設計費、井口学童用地購入費と設計費、三鷹台幼稚園の認定こども園移移のための補助金等々。当事者の声の反映を質し、賛成。

<暴力団排除条例>

差別意識を助長し、暴力排除の実効性薄く、各地で問題となっている。条例での規定なしに市民の権利制限をする問題と同時に市民を危険にさらす可能性を指摘し反対。

<特別職職員の給与条例改正> <教育庁の給与条例改正>

市長・副市長・教育長の月額報酬2万円引き下げ。17年間未改訂だったのを報酬審議会を開催した。市職員のこの間の給与の変化と比較して改定率を確認し、賛成。

<市職員の給与条例改正>

扶養手当、住宅手当、管理職手当等の廃止。結果1.32%の削減は多摩最高。今後予定される退職金の削減とあわせ、今後の民間への波及なども心配。労使協定が成立していることから賛成。

◆厚生委員会

<高齢者入院見舞金条例廃止>

・受給者の多くが低所得者層であり、市民負担増となるとして反対。



◆まちづくり環境委員会

<景観条例>

景観団体として独自に条例を定め、市内全域を景観区域として保全するもの。賛成。

<土地の売り払い>

新川市営住宅跡地をエコタウンとするプロポーザルの結果、落札した会社に売却。7階建てマンション建設予定。



☆都知事選挙、宇都宮けんじさんを応援し、三鷹勝手連に参加。衆議院選挙の結果も含め、大変残念な結果となりました。

私は、11月中旬に多くの市民とともに「人にやさしい東京を三鷹から」を立ち上げ、街頭宣伝やポスティング等の活動しました。しかし、前回の知事選では10数回あったTV候補者討論会が今回2回しかないなど、衆議院選報道にかき消され、候補者名入りのチラシ配布は告示前の中、

知名度のなさを補いきれませんでした。公職選挙法の壁も厚かったといわざるを得ません。

一方で今回の選挙応援を通して新たな出会い、つながりも多くありました。これから来るより厳しい時期に、想いを共にし互いに手をつなぎ合える仲間がこれだけいるんだと思えることは、得がたい財産です。しっかり地に足をつけた活動をしていきたいという思いを新たにしています。



■ 12/21 福島原発告訴団・関東報告集会



☆8月から福島原発告訴第2次全国告訴の募集を開始。関東事務局のスタッフとして活動。11月上旬は、関東事務局に集まった6000前後の名簿整理におわれまして。11月15日、福島検察庁に1万3262人分の告訴・告発状を提出。12月をもって関東事務局は解散し、福島本部に今後をゆだねます。福島地検は、2次告訴の受理を決めたようですが、起訴されるのか、強制捜査はあるのか、今後も注視が必要です。起訴なら刑事裁判の傍聴、不起訴であれば検察審査会への提訴などがある予定です。

■ 10/29-30 にじ色のつばさ、財政再

建団体の2市を視察。

☆泉佐野市

関西空港建設に伴い、駅前再開発、総合文化センター(300億)、総合医療センター(300億)等を整備。税収見込みより100億マイナスで公債費が負担。公共施設週休2日や保育料3年ごとの値上げ等々でしのぐも、将来負担比率でひっかかり今年度健全化計画策定。市民負担増決定時の議案否決などの事情も伺



え参考になった。

☆滑川市

市民交流プラザ(17億)建設で、町全体で議論沸騰。議会で財政健全化特別委員会設置。その委員長が市長となり公約の財政健全化条例制定。具体的目標値を掲げ、議会説明と同時に市民への公表も盛り込む。議長同席の説明で議会の動きもわかり有意義な視察となった。



■ 11/7~9 財政研究会視察

☆佐渡市

Uターンした元キャリア女性为中心となって高齢者の居場所や小規模多機能施設等をNPOで設置。市の基本計画や健康づくり計画の具体的なところにも関わっている様子を視察。佐渡市の豊かな文化建築にも触れた。佐渡市長とも懇談。女性管理職の比率なども伺い、唯一の女性議員荒井真理さんの後押しにもなった。荒井さんとは旧知の仲。



☆南魚沼市

夫の医療法人、妻の福祉法人で、診療所・訪問看護、訪問介護の他にも様々なタイプの高齢者施設の運営に携わる。今年度から、市指定管理で認定こども園の運営も始めた。市建設の園舎は円形でユニーク。駆け足で10カ所の施設見学で盛り沢山の視察。

野村羊子といっしょにつくる三鷹の会newsNo.58
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12-104
Tel&Fax:0422-72-2425
E-mail : issyonokai@nomura-yoko.net
Url : <http://www.nomura-yoko.net>
Twitter : <https://twitter.com/#!/hitujinomura>

■復興庁に原発事故子ども・被災者支援法の具体策について要望書提出。10/26福島避難者子ども健康相談会・つながろう！放射能から避難したママネット、11/20福島原発震災連絡センター。2回共に当事者の声を担当者に届けた。政変でいかに？